

2026年度（令和8年度）福山市立中条小学校 研究構想図

文部科学省
「生きる力～学びの、その先へ～」

広島県教育委員会
「一人一人が、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して 新たな価値を創造する人づくりの実現」

神辺中学校区
「できる!分かる!主体的に学ぶ児童生徒の育成」

学校教育目標
「自分を磨き ともに学び支え合う児童の育成」

課題解決力（自己実現力・自己調整力）

コミュニケーション力（協働する力）

研究主題

「主体的に学ぶ児童の育成～学びを充実させる授業の3Kを通して～」

児童一人一人を想定した
環境づくり

授業研究や意見交流から
行う授業改善

学習内容と児童をつなぐ
教材研究

PDCAサイクルに基づく
個別の支援・合理的配慮の改善

学びの進化・深化へ導く
関係性

キーワード
授業モデル「中条スタイル」の確立

キーワード
安心して過ごせるからできる自己実現

個に応じた学び方で学ぶ土台を作る「マルチ授業（一斉授業）」

- 授業 UD モデルをもとに、全ての児童に学びを保障する。
- マルチピザの考え方をもち、学びを複線化し、児童が選択自己決定しながら目標の到達に向かうことができる。（山登りの考え方）
- 協働的な学びを取り入れ、学びのインプット・アウトプットを実現する。

安心して過ごせる集団の育成

- 児童の思いや願いを実現する学級目標の設定
- プロジェクトアドベンチャーを意識したわくわくちゅうちゃんタイムの実施
- 児童会活動を中心とした異年齢での活動
・たてわり班による活動 ・学校行事における活動 ・学年間で行う授業 等

中条小学校で実現を目指す個別最適な学び

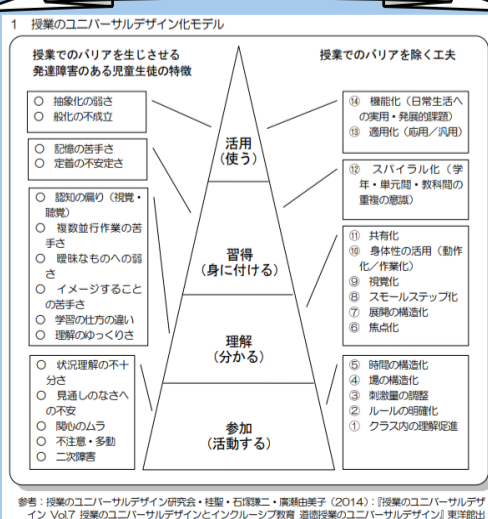
獲得した学び方を発揮し、自力で学ぶ「単元内自由進度学習」

- 自分で立てた学習計画表（学びの道標）をもとに、自己の学びを見直し、リフレクションを通して学びの修正・調整をしながら学びを深める。
- 自分に合った（個別最適な学び）を展開しながら学びを深める。

自己実現力の向上

- キャリア・ログをもとに、年間を通して「なりたい自分」を見つめる。
- リフレクションを通して、結果（自己の姿）を見つめ、過程を分析することで目指す自己の姿に向けて自分を再現する、改善する。

児童が抱えるバリアを取り除く「UDモデル」



本校児童の実態

標準学カテスト（12月）における算数科の通過率40%未満→15人

自己肯定感「自分のことが好きですか」：肯定的→81.9%

平日の家庭学習：30分未満→21.8%、1時間未満→35.7%

平日のメディア利用：1～2時間→13.0%、2時間以上→35.7%

児童の多様な学びを支える「マルチピザ理論」

